

ハルロピ[®]テープ 8mg / 16mg / 24mg 32mg / 40mg を使用されている方へ

必ず使用前に読んでください。

- **お薬の使用中に突然眠り込んだり、強い眠気が出ることがあります。**
お薬の使用中は、自動車の運転や機械の操作、高い所での作業などの危険を伴う作業は避けてください。
- 次のような場合は、使う前に医師または薬剤師に相談してください。
(1) 以前にお薬を飲んで、かゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことがある場合。(2) 妊娠している、妊娠の可能性がある、または授乳中の場合。

このお薬はパーキンソン病の治療を目的とし、1日1回の貼りかえで効果が確認された貼付剤^{ちようふざい}です。皮膚に貼ると少しずつお薬の成分が吸収されます。

ハルロピ[®]テープを使用するときの注意

- 処方された患者さん以外は使用しないようお願いします。このお薬を他の人に譲ってはいけません。
- 使用のお薬の組み合わせや増量・減量方法については、医師の指示に従ってください。医師の指示なしに使用量を変更・中止することは、絶対にしてはいけません。
- お風呂やシャワーの時間を考慮し、毎日1回、同じ時間に貼りかえてください。
- 赤みやかゆみ、傷などがある場所には貼らないでください。
- 皮膚への刺激をできるだけ減らすために、貼る場所は毎回変えてください。
- 新しいお薬を貼る前に、必ず前回のお薬をはがしてください。
- 貼り忘れに気づいても絶対に2回分を1度に貼らないでください。
- 途中でお薬がはがれてしまったときは効果が弱まる可能性があるため、新しいお薬を貼ってください。また、次の貼りかえ予定時間には新たなお薬を貼ってください。
- お薬を貼った場所が、過度の直射日光、アンカ、カイロ、湯たんぽ、サウナなどで熱くならないようにしてください。

ハルロピ[®]テープの副作用に関する注意

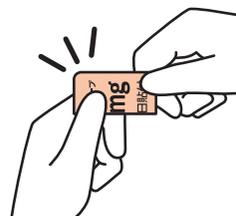
- お薬の使用中に次のような症状があらわれた場合、医師または薬剤師に相談してください。
(1) 突然眠り込んだり、強い眠気が出るなどの症状。
(2) 幻覚や妄想、興奮、さく乱、せん妄などの精神症状。
(3) 高熱、意識障害、手足の震えや体のこわばり、ショック症状等の悪性症候群の症状。
(4) 病的な衝動(ギャンブル依存、買い物依存、過食、性的衝動など)を抑えられない症状。
(5) 悪心、嘔吐等の消化器症状。
(6) めまい、立ちくらみ、ふらつき等の起立性低血圧の症状。
(7) お薬を貼った場所がかゆくなる、赤くなる、かぶれるなどの皮膚症状。

ハルロピ[®]テープの保管上の注意

- このお薬は1枚ごとに包装されています。包装袋は貼る直前まで開封しないでください。
- 子どもの手の届かない場所で保管してください。
- 直射日光を避け、湿度の低い場所で保管してください。
- 未使用のお薬がある場合は医師または薬剤師に報告し、指示に従ってください。

ハルロピ[®]テープを捨てるときの注意

- 使用済みのお薬には成分が残っているため、粘着面を内側にして折りたたんでください。また、子どもの手や目の届かないところに捨ててください。



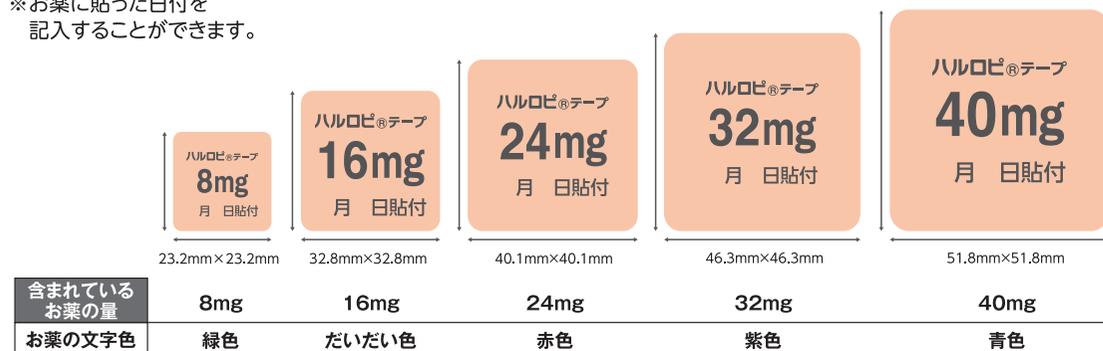
- このお薬の包装袋はプラスチック製です。捨てるときは各自治体の分別ルールに従ってください。



ハルロピ®テープの種類

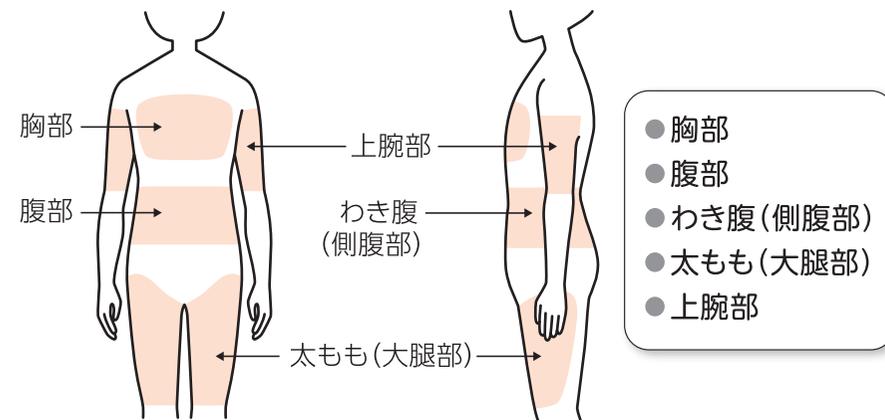
- このお薬は5種類の用量があり、用量が大きくなるほどお薬のサイズも大きくなります。
- 症状や年齢などに応じて、貼るお薬の種類や枚数は変わります。

※お薬に貼った日付を
記入することができます。



ハルロピ®テープを貼る場所

- このお薬は下図の  のいずれかに貼ってください。



ハルロピ®テープの貼り方

- ### ①貼る場所を清潔にする

貼る場所をよく拭いて清潔にしてください。また、水分や汗は十分に取り除いてください。
- ### ②お薬を取り出す

開け口からミシン目にそって切り取り、お薬を取り出してください。
- ### ③日付の記入

お薬に貼る日付を記入してください。
- ### ④フィルムをはがす

「ここからはがす」と書かれた白いフィルム面を上にしてください。フィルム中央で折り返し、片方のフィルムをずらし、粘着面を少し出してください。
- ### ⑤お薬を貼る

貼る場所に粘着面をあて、フィルムをずらしながら貼ってください。もう一方も折り返して、フィルムをずらしながら貼ってください。
- ### ⑥しっかり密着させる

手のひらでお薬を押さえ、しっかりと皮膚に密着させてください。
- ### ⑦手を洗う

お薬を貼った後は手を流水でよく洗ってください。